

令和 7 年度 一般社団法人高知県助産師会総会議事録

日時：令和 7 年 5 月 11 日（日）10 時 00 分～13 時 28 分

場所：オーテピア 4 階ホール

〒780-0842 高知県高知市追手筋 2-1-1 電話：088-823-9352

出席者：10 時 08 分時点 会員 66 名 出席人数 23 名、委任状 35 名、

58 名出席にて総会成立（+理事 ZOOM 参加 2 名と会場に県外会員元理事 1 名）

12 時 35 分時点 会員 66 名 出席人数 24 名、委任状 33 名

57 名出席にて総会成立（+理事 ZOOM 参加 3 名と会場に県外会員元理事 1 名）

出席理事名：濱口理恵 宗石きみ子 小松あさみ 竹内喜美恵 柴喜江 秋澤由里

井上淳子 木村和佳 森木由美子 山崎ひとみ 宮地絵里

司会：森木由美子

議長：宗石きみ子

書記：宮地絵里

議事録署名人選出：畠中ゆかり 藤原恵

10 時 00 分～

第 1 号議案 令和 6 年度高知県助産師会活動報告

10 時 58 分～質疑応答

【質問①】基本、活動についての評価は、数値化した方がいいのではないかな。

ママパパ教室について、キャンセル待ちは何件あり、そのうち参加できなかったのは

何件か。令和 6 年度の高知県の出生数に対して、参加した人数は、妥当なのか。

何件を目指しているのか

【質問②】性教育の活動について、前年度と変わったことの比較。

講師報酬料が上がったことの影響とか、実施を受けた学校の種別など、変化があったの

か、依頼が増えたのか。その結果が、令和 7 年度の活動案に反映されるのではないかな。

【質問③】産後ケア WG の活動の中の、高知市の大ミーティングは、高知県全体で共有する

という方向性はあったのか。

【質問④】令和 6 年度の活動方針の評価 1 について、「自宅出張分娩訪問施設」とは、

公的用語か。自分の施設も、出張分娩できる施設として認可されている。2 件目に入る。

【質問⑤】 高知県の母児に対する支援全体についての課題と評価について、

取り組む産後ケア事業の対象を、どの時期であっても、「ゼロ歳から 1 歳までの支援のうちこの時期」として評価する姿勢が必須である、という文言が、評価も含め、理解できない。

【質問⑥】 専門部会の委員会の開業ラダー I 認証制度申請が、なぜ、助産所部門に入っているのか。

開業助産師で、開業ラダー I の認証を持っている助産師が、高知県助産師会に何名いるのか。

【質問⑦】 関連機関との連携で、高知市パパママ教室はぐくみの助産師派遣協力について、これは、個人が受けて行っているのか、高知県助産師会から派遣されたという形ではない。疑問に感じる。

【回答】 質問①-⑦確認していく。

【質問⑧】 安全対策委員会インシデント事案をかまわない範囲で知りたい。

【回答】 赤ちゃん会の時に、母が目を離した際、赤ちゃんが台から転落したこと、大事には至らなかったが、報告に上げた。

【質問⑨】 性教育 WG の実施報告勉強会で学びを共有したと報告があったが、

その結果はどこかに公表しているものなのか。また、会員に公表されるものなのか。

【回答】 性教育 WG は、直接運営に関わるグループではなく、会員が抱える、問題・課題をみんなで協議して、理事会・助産師会に提案していこうという活動としている。

その活動の中で、実施報告書の作成を提案した。性教育 WG では実施報告書を開示する立場ではない。その報告については、理事会の方で、返事をしていく。

性教育 WG は、提案をしたというグループで、性教育そのものは、助産師会の事業として今後検討していくことは必要。性教育 WG としての返答はここまでになる。

【質問⑩】性教育WGでとったアンケートの評価を、性教育WGでは行わないのか。

行っているのか。理事会に委任するということか。その位置づけが、わからない。

明確にしていきたい。

【回答】今後、理事会の方で確認していく。

11時13分→第1号議案 拍手で承認

11時14分～

第2号議案 令和6年度会計報告 監査報告

11時27分～質疑応答

【質問①】決算報告書は、わかりやすくなったが、収支報告書は、事業ごとに。

収入はわかるが、支出が、産後ケア、いのちの教室、がわからない。

産後ケアといのちの教室が、どういう分担になっているのか、わからない。支出の事務費とか報酬支払の振り分けは出ているのか。

【回答】ここには入れていないが、また、資料を提示する。

11時30分→第2号議案 拍手で承認

監査報告：11時31分

11時34分～

第3号議案 令和7年度活動方針（案）

11時40分～質疑応答

【質問①】日本助産師会会長より、ライフステージに沿った支援が必要と、助産師の意義に

ついての話があったが、令和6年度も7年度も、母と子、の言葉は出るが、更年期も老年期も出ない。高知県助産師会としての方針はそれでいいのか。

【質問②】 妊娠、出産期の女性の課題で、出産対応施設、病院での助産師外来の開設から、院内助産への移行ができるように、助産師の知識・技術の向上の支援を行う、
というのは、これは主に勤務助産師対象にということでもいいのか。

【回答】 質問②は、勤務助産師への対応である。

【質問③】 高知県助産師会会員における勤務助産師の会員は、全体の%か。

周産期の課題がある中で、施設の助産師向けに支援は大事だが、そういう現状があるから、地域の助産師の課題というものがあるのではないか。

【回答】 分娩が集約化されていることで、山間部の妊婦が、出産場所が遠くなり、
助産師のスキルがあつて近くで妊婦健診が受けられるのであれば、それが必要になる。
理事会で検討し返答させてもらいたい。

【質問④】 妊娠、出産、育児の課題の1行目、当会所属（分娩なし）開業助産師による、
というのは、わざわざ分娩なしと書いているのはなぜか。

【回答】 () は削除でいい。

【質問⑤】 学校以外に、学童保育や放課後デイサービス、就労継続支援事業所からの
依頼も増えている、ということは、学校からも増えているという理解でいいのか。
その対象が、子ども達に性についての知識や態度、スキルの学びの機会を提供する、
となっているが、子どもに、言う・教える、だけでいいのか。

【回答】 性教育の依頼数に関しては、年度によって増減あるので、増減だけで事業評価は
難しいところである。実施報告書の提出によって、今まで把握できなかった状況から見
えてきたことはある。ただ、その評価を理事会でまだできていない。
書き方について、依頼施設の幅が広がったところはある。そういう作業所などの
施設からの依頼が増えたという表現になった。

【質問⑥】 現実、数は増えているのか。

【回答】 増えている。

【質問⑦】 そこと、講師料を上げたことの相関関係は必ず評価するべきではないか。

【質問⑧】 母乳育児は、母乳というのは大事で、WHO も言っている。母乳というのは、やはり、パパの育児支援、育児休暇取得の考え方も変わったと思うので、その辺を入れてもいいのではないか。

【質問⑨】 0 歳から 1 歳までのどの時期であっても「ゼロ歳から 1 歳までの支援のうちのこの時として評価する姿勢が必須、というのが、わからない。

産後ケア事業を 1 歳から延長した方がいいという感じでガイドラインがニュアンス的にはなっているのに、0 歳から 1 歳というのが、つながっているのがどうなのか。

【質問⑩】 一番大事な方針なので、誰が見てもわかるように、具体的に上げて欲しい。

理事会でいいので、決定した内容は、方針なので、会員に公表をお願いしたい。

【回答】 確認していく。

11 時 51 分→承認求め拍手あり。後日回答の要望在り後日回答とする。

監査報告の訂正

報告書の年度の訂正：令和 6 年度、を、令和 7 年度に訂正。

11 時 55 分～

第 4 号議案 令和 7 年度事業計画

12 時 10 分～質疑応答

【質問①】 ママパパ教室において、産後ケア事業利用の案内および相談先の紹介を行うということは、産後ケア事業との連携はしていくということでよいか。

【質問②】 産後ケア事業というのは、妊娠期からの指導、継続支援の必要性というのは、産後ケア WG でもたびたび問題になるので、ぜひママパパ教室などで、沐浴指導だけで

なく、妊娠期全体、産後にかかわるような内容、そういうものの検討をお願いしたい。

【質問③】各関連団体に教室のアピールしている、とあるが、キャンセル待ちが出ている現状でこれ以上アピールして、その数に対応していけるのか。

教室運営の回数、内容、やり方は、いろいろ課題はあると思うが、ぜひ検討を。

【回答】産後ケアについては、妊娠中から産後ケアを紹介している。

相談先については、私たちも相談事業をしている。いつでも、自分たちで困らないように、ということで、安心していただけるよう声かけしている。

【質問④】助産師会として受けているのは、訪問型の産後ケアになるが、助産師会員の中には、私も含め、施設を持って、通所型・宿泊型を受け入れている会員もいる。なので、令和7年度の方針として、助産師会として、産後ケアをどう推進していくのか。事業としては訪問型だけれども、訪問型を拡充していくのか、それとも会員がやっていくことも含めて、ママパパ教室とかでも、紹介も含めて、全体として拡充していくのか。その辺を明確にして欲しい。

【質問⑤】ママパパ教室、感染対策のため6組とあるが、コロナも5類にもなってしばらくたつがこの6組は適正な数字なのか。

会場としてこれが限界とか、スタッフも含め、そういったところからの組数もあると思う。ただ、感染対策として6組ということだけではないと思う。

できればキャンセル待ちがないように検討していくのも会だと思う。

今後も、知らせたい。

【回答】感染対策と会場の広さ。増やしたいが。今の教室で参加者が良かったと言って

もらうのは、助産師と妊婦とその家族との接触。沐浴実習に1組に1人の助産師がついている。なので、安心感はある。回数も増やしたいが、なかなか難しいところがある。

【質問⑥】実際にキャンセル待ちが出てきて、高知県のママパパ教室が行き届いてないのも、

周産期資質の現状ではないか。内容を再検討して。感染対策も6組ではなく、
広い会場を借りる、とか、内容を変えるとか、講師のセッティングを変えるとか、
その辺も含めた検討をして欲しい。

【回答】なかなか難しいが、前向きに検討していく。

【質問⑦】会場の件で、母子の安全の面で、現在使用している場所は、耐震上の
問題はないのか。

【回答】会場については、耐震構造には心配はあり、もっと広いところ、耐震化されている
ところに、会場を探している。現在検討中。決まったら報告する。

【質問⑧】令和7年度乳幼児ふれあい体験事業があるが、活動計画書はどこにあるのか。
その事業が、講師の選定も終わって、アシスタントも決まって、実施日も決まって
いる、市町村も決まっている。個人的には、12月の説明会以後、理事会で検討し、
会員への周知をはかるということで理解していた。一般の方々にチラシや、
高知県助産師会が受託したものを、事業でなにかお知らせする時は、まず、会員に
お知らせが欲しい。明確にして欲しい。

【回答】触れ合い体験事業の方は、理事会の方から会員に周知していけるようにしていく。

【質問⑨】産後ケア事業が、高知市の訪問に重点がいつているように思う。

高知県助産師会として、高知市の産後ケアだけでなく、それをどうしていきたいか。
どういう支援があるかということを、もう少し検討して、理事会に上げてもいいの
ではないか。

【回答】産後ケアは、高知市とその周辺の訪問型産後ケアについての内容と受け取れるので、
高知県全域の、産後ケア全体のことに対しての検討からやっていく。
切れ目がないように、全部の中の一部である訪問型を認識した上で、切れ目のないよ
うにするには、どうすれば繋がるのかという視点・立ち位置でやっていく必要がある。

【回答】高知市訪問型に特化した案になっている。実際、高知市での課題があり、

それに対しての課題解決をしなければならない現状。高知県全体で見ていくという視点も、持ってはいたが、高知市に特化していた。高知県全体の産後ケアというものを拡大させていきたい。そのための、協力と連携も含めて行っていきたい。

【質問⑩】産後ケアを実施するためのハードルが高い。実務者研修・保険・体重計の問題など、産後ケア事業としてはいろいろある。

他のいのちの教室、ママパパ教室など、全てを含めて、どのくらいの講師レベルを求められているのか。何か目標値があるのか。それは、客観的指標なのか。

その客観的指標の一つの、日本助産評価機構が推奨する開業ラダーを使うのか、使わないのか。個々が研修会に参加しているから、よし、ではなく、もう少し、客観的講師選定をしてもいいのではないか。

【回答】確認していく。

12 時 27 分→承認求め拍手あり。後日回答の要望在り後日回答とする。

12 時 28 分～

第 5 号議案 令和 7 年度予算（案）

12 時 35 分→拍手にて承認

（案）を外す

12 時 37 分～

第 6 号議案 （監查理事）役員欠員選挙

12 時 40 分 投票

12 時 41 分 開票

12 時 45 分 時間が過ぎてしまったため昼休憩をはさむ

13 時 27 分 選挙結果 満場一致で当選

会計監査：坪井志津

13 時 28 分 閉会

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和 7 年 5 月 27 日

議事録署名人

島中 ゆかり



藤原 克

